

支部長交代ご苦労様でした

仙台支部

昨年11月17日、仙台支部総会をハーネル仙台で開催した。総会には40人の会員が参加し、同窓会から三浦廣巳副会長、越中谷孝一名簿委員長、母校から安田浩幸校長が出席された。三浦副会長から同窓会の近況について、安田校長からは最近の進学状況、全県・東北・全国大会での運動部、文化部の活躍が報告された。

平成20年に支部活動を復活させてから、10年間支部長として先頭に立ってこられた相澤雄一郎支部長（昭和28卒）が退任し、副支部長の新田目倅造氏（昭和30卒）が後任として了承された。岩崎俊一顧問（昭和19卒、仙台市名誉市民、東北工業大名誉理事長）の乾杯で懇親会に入った。

昨年10月の衆議院選挙で立憲民主党から見事当選された岡本章子氏（昭和55年入学）が東京から駆けつけ、初登院の様子を報告されるなど大いに盛り上がり、最後は校歌を5番まで斉唱して散会した。

（支部長・新田目 倅造＝昭和30卒 記）



世代を超えて集う

追分三叉路会（追分支部）

昨年11月5日、潟上市追分自治会館を会場に19人が参加して追分三叉路会総会を開催しました。

同窓会から柏木事務局長、母校から安田校長にご出席いただきました。

総会後に行われた文化講演会の講師は当支部会員でもある医師の稲庭千弥子さん（昭和47卒）で、今村病院理事長としても活躍されている立場から1時間近くお話をいただきました。医療従事者だけでなく行政を含めた社会的な対応が求められていることを熱く語られました。

幅広い世代が集まるようになってきた追分三叉路会、今後が大いに楽しみです。（幹事長・藤原 正三＝昭和46卒 記）



クラデコ上映で懐かしむ

昭和49年卒同期会

1月6日、秋田キャッスルホテルに恩師の三船新次・小野寺清両先生を含め57人が集い、還暦同期会から2年半ぶりの同期会を盛大に開催しました。

今回は特別企画として、山口武秀さんが保管していた秋高祭クラスデコレーションで3C制作の8ミリビデオを上映し、当時の授業風景、恩師・生徒の姿が懐かしく思い出されました。初参加や久しぶりの参加者からの近況報告、「今打ち込んでいること、今大切にしていること」のテーマで募集したメッセージ集の紹介もあり、昨年秋の褒章で藍綬褒章を受章された県酒造組合の小玉真一郎会長からご提供の純米大吟醸「太平山・天巧50」を美味しくいただきながら、とても楽しく歓談できました。

元応援団の荘司裕さんが還暦の時に準備した赤い学生服姿で登場し校歌斉唱・エールで大いに盛り上がったところで、伊藤成年さんから母校秋田高校の校長時代のことなど感謝の言葉があり、佐野元彦同窓会副会長の音頭で中締め。半数以上がホテルの2次会でさらに旧交を温め、次回の再会を誓って散会しました。（佐藤 悦紹 記）



現役のバックアップ誓う

応援団OB会・紫紺の会

昨年12月9日、秋田市の協働大町ビルを会場に、安田浩幸校長先生・松岡正樹顧問を含む12人が参加し忘年会を開催しました。

母校創立100周年の年に甲子園での応援を経験した荘司裕さん（昭和49卒）が宮城県から初参加、当時の応援やスクールライフを語ってくれました。

前年に続き10月に行った秋高音頭伝承会など、現役応援委員との交流に参加した会員からは慢性的な人員不足を危惧する声が上がりました。少人数で頑張っている現役生徒を今年もバックアップしていくことを誓い合い、お開きの後は夜の街に繰り出しました。（事務局・保坂 尚吾＝昭和55卒 記）

